実践記録

「志津里山自然学校」プログラム②
「ホタルと友だちになろう」

実施日	活動場所	参加者	講師	スタッフ
2025.6.7 18:30～20:45	志津まちづくりセンター 青地町内の伯母川	37名 新期生 17名 運営委員の子ども 20名	1名 鈴木道弘先生	29名 運営委員25名(OB・OG19名　ボラ会6名) まち協1名(政川様) 市3名

◆運営委員による企画・運営(今年度2本目)◆

○スタッフまちセン集合→打合せ→準備　18:00 【写真①】

○参加者集合・受付→班ごとに座って待つ　18:20 【写真②】


①

あいさつ・日程説明等　18:30～18:40

進行・・・本プログラムの進行リーダー(2期生と3期生)

①「志津里山自然学校」山元校長の挨拶

②今日の日程説明(進行リーダー)　【写真③】

③講師・班スタッフ紹介(進行リーダー)


②

ホタルに関する話　18:40～19:00

■講師・・・鈴木道弘先生

■生物多様性の学び・・・ホタルを通して生物多様性の恩恵や人間生活との関わりを考える

※スライドを活用しクイズを交えながら説明 【写真④】

「ホタルはなぜ光るのですか？ ホタルの光は・・」

・目を楽しませ心を和ませる ・自然のすばらしさを伝える

・ふれあいの場をつくる ・世代を超えた交流を促す

→ 生物多様性の恵みの一つ「文化的サービス」に気づく


③

「ホタルがすむ環境が変化しています」

・河川改修・浚渫工事・宅地開発などによる環境変化

・人間の暮らしの夜行性化はホタルにとっては「光害」

→ 日常生活や社会活動が生物多様性にどのように関係しているかに気づく

「ホタルから思うことは・・」

・人間は生態系の頂点。自然の恵みの中でいろいろな生き物たちに支えられ生きている。

→ 生物多様性の重要性に気づく

・自然の営みの中、人間の豊かさや便利さだけを求めるのではなく、いろいろな生き物たちが生きている環境を考えること、生物多様性が大切。

→ 生物多様性と人間生活との関わりを考える



④

ホタルの紙芝居　19:00～19:10

■読み手・・・2期生親子2名 【写真⑤】

■タイトル・・・「ホタルくんとカエルさん」

感想例　・紙芝居が読みづらかったけどたくさんの方に褒めていただきました。

・親子で演じてくれてよかった。特に抑揚をつけて読む子どもがうまかった。

・ホタルの話や紙芝居を見たり聞いたりできたことでより身近に感じられているようだった


⑤

○ホタル観察の説明・注意事項　19:10

4班編成で行動する　各班に運営委員が2名つく　持ち物

○トイレを済ませ人数確認　19:15

実践記録

ホタル観察　19:25～20:35

○観察ルート

往路・・・志津まちセン→富農橋→伯母川沿い→山田橋手前農道に入る

復路・・・山田橋手前農道→伯母川沿い→富農橋→志津まちセン

○安全対策

①事前の観察ルート下見　②各班にスタッフ4名程度　③事前事後の人数確認

○ホタル出現場所 【写真⑥】

青地町の伯母川での目撃情報が多かったため昨年と同じ経路をとる。全体的に観察できたが、特に山田橋手前農道に入った当たりで多く観察することができた。

○運営委員の活躍

先頭に立ち随時人数確認や声掛けをするなど、安全に留意して行動する頼もしい姿が見られた。

○参加者の感想例

・ホタルがいっぱいいたことが心に残りました。ホタルの光がきれいでした。
・2～5匹が固まって飛んでいた。草の近くや橋の真下、木の下などにたくさんいた。
・こんなに近くにホタルが棲んでいてびっくりしました。
・ホタルがいっぱいいてうれしかったです。また来たいです。

○志津まちセン到着・人数確認　20:30


⑥


⑥

振返り・連絡　20:35～20:45

○振返り 【写真⑦】 ➡ホタルマップ（家族用と全体用）へシール貼り 【写真⑧】

ホタルが出現した場所にシールを貼る。

○感想例

質問1　一番楽しかったこと・心に残ったことは？

・手にホタルをのせたこととさわれたこと。ホタルが多く飛んでいてうれしかったです。
・時間や場所 天気など条件が合わないと見られないと思うので、貴重な経験をさせていただきました。
・大人も夢中でホタル探しを子どもたちと一緒にできたこと。

質問2　新しい発見・初めて知ったことは？

・ホタルはずっと光っているんじゃなく点滅していることがわかりました。
・ホタルの生態の話を聞けて初めて知ることがたくさんでした。
・ホタルの光る間隔や周期など、卵を産む数や成長する割合など。

質問3　その他　思ったことなどは？

・ホタルを見つけた時のうれしさが心の中でいっぱいになった。
・ホタルをもっと観察して特徴を知りたい。またホタルが見たい。
・今日来れなかった夫や次女にも見せたいです。
・みんなで夜にホタルを見に行く体験は子どもの心に強く残ると思います。これからも続けてほしい。


⑦


⑧


⑧

運営委員の振返り　20:50～21:05

・子どもたちに自然との共生を理解してもらういい機会だと思います。【写真⑨】
・ホタル発見時の盛り上がりを見るとまた来年もやりたいと思えた。ボラ会の方にも感謝です！
・大役を任されドキドキでしたが、皆さんの協力のおかげでスムーズに進みよかったです。
・今年は点呼を人数だけでなく名前と共に確認できました。回数も増やせました。
・皆さんどんどん仕事をやられ素晴らしいと思いました。回を追うごとに連携が取れてきていると感じた。

■本実践の評価は別紙参照

※別紙：令和7年度「志津里山自然学校」プログラム②の評価


⑨